

名称・キャンパス・入試枠、すべてが新しく。

名市大 理学部 2027年春、新ステージへ。



キャンパス移転 2027年、田辺通へ

名古屋市立大学の理学部の教育・研究活動は、2027年度に田辺通キャンパスへ移転します。新築される校舎には、最先端の研究設備と学修空間を整備。理学の学びにふさわしい、快適で創造的な環境がここに誕生します。



学部名称の変更 「理学部」に

これまでの「総合生命理学部」を改め、2027年度から「理学部」として再出発。学部の教育と研究内容がより明確になり、進路を考える高校生にとって選びやすくなります。名称に加え、教育体制や研究内容も大きく強化されます。



定員拡充 多様な入試が実現

学生定員が43名から90名へと拡大。入試は従来の後期日程40名を維持しつつ、新たに前期日程の40名が追加。また、学校推薦型選抜も10名に拡大されます。定員の拡大にあわせて、各分野のカリキュラムや研究環境もより一層進化します。サイエンスを学びたい・研究したいと希望する多くの学生の期待に応えます。



名古屋市立大学
大学院理学研究科・総合生命理学部
NAGOYA CITY UNIVERSITY
Graduate School of Science
School of Biology and Integrated Sciences

理学部広報サークル

総合生命理学部の魅力や理学の楽しさ、研究について学生が発信するInstagram



総合生命理学部サイト 大学サイト

みんなと、つながる。だから、広がる。

安心と具体性が見える、名市大 理学部の学び。

自分のペースで 専門分野を選べる安心

本学部では、研究室配属は3年後期から。1~2年次は、数理・物理・化学・生物・情報などを幅広く学び、自分の興味や適性をじっくり検討した上で、進む分野を決められます。「早く専門分野を決めなきゃ」と焦る必要はありません。学生の不安に寄り添った制度設計で、自分に合った進路をしっかりと見極められます。



少人数だからこそ生まれる つながりと発見

本学部は、教員と学生の距離が近く、気軽に話しかけられる雰囲気があります。授業や実験を通じて学生同士も仲が深まり、顔と名前が一致する関係が自然と築かれます。物理・化学・生物が横断的につながる授業で、新しい興味が広がることも。「1年前期に行う実験でみんなと仲良くなった」と話す学生もいます。



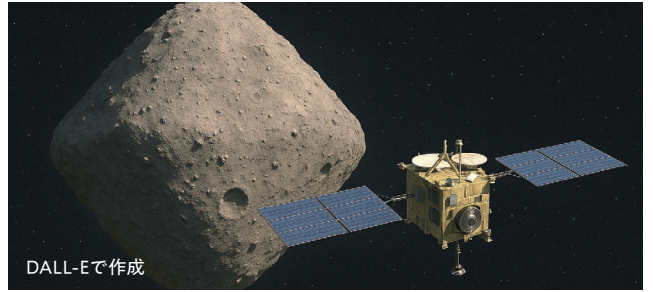
就職も進学も、学びのその先へ 幅広い選択肢

学部卒業後は多くの学生が、本学大学院理学研究科に、または東京大学・名古屋大学・大阪大学などの大学院に進学します。学部および大学院卒業後の就職先としては、NTT西日本・デンソー・三菱電機・小野薬品・資生堂・カゴメ・みずほ証券などの企業、愛知県庁・名古屋市役所などの官公庁、愛知県立高校・愛知県内の私立高校などの学校があります。



注目の研究 宇宙と地球のはじまりに迫る

本学部の三浦准教授は、小惑星リュウグウの構造を数値シミュレーションで再現する研究を進めています。リュウグウが彗星から進化した可能性を物理モデルで検証し、「はやぶさ2」の観測結果を再現しました。宇宙や地球の起源に迫る研究に、理学部で学ぶ数理・物理の知識を活かして挑めることも本学の魅力です。



学部入試情報

前期日程: 40名
後期日程: 40名
推薦入試: 10名



【滝子(山の畑)キャンパス】

※令和9年3月まで

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

地下鉄桜通線「桜山」駅 徒歩12分



※詳細は大学サイトにてご確認ください。